

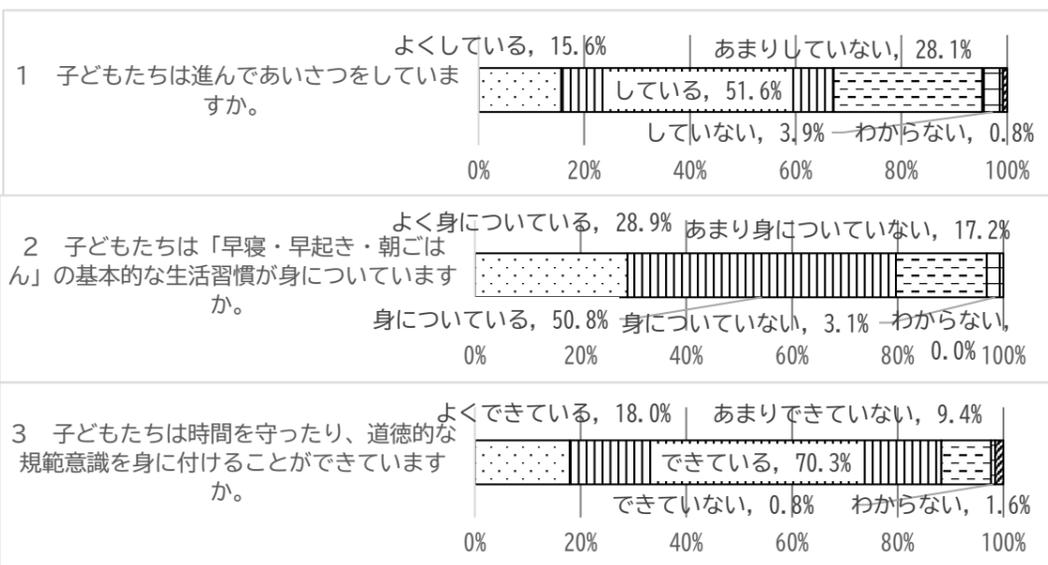


がっこうひょうか

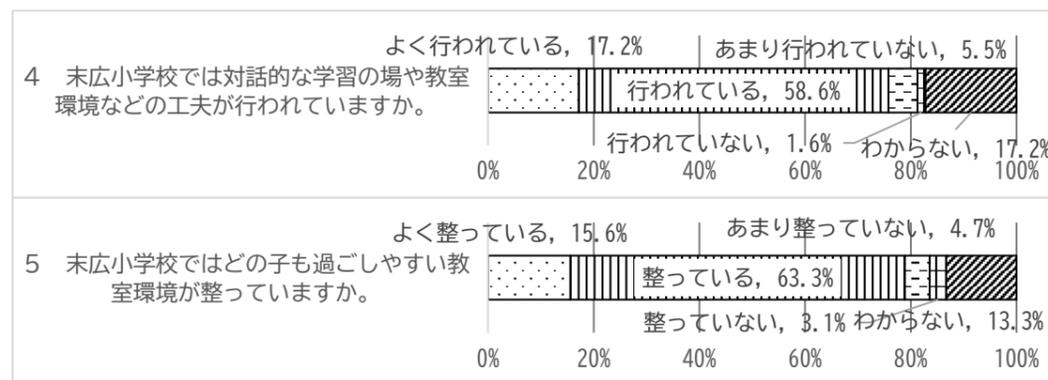
きょうりよく

## 学校評価アンケートにご協力ありがとうございました

1月12日(金)に文書及びメールでご協力をお願いいたしました「末広小学校教育活動に関するアンケート」ですが、この度結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。今年度のアンケートも昨年度同様、学校目標に合わせた項目となっています。多くの方にご協力を頂きまして本当にありがとうございました。また、この結果を踏まえまして、次年度の教育活動に反映させていただきたいと思っております。



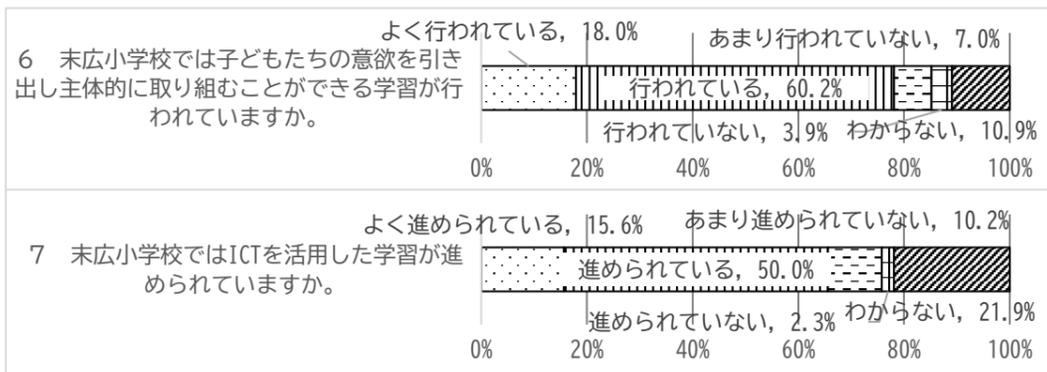
アンケートと昨年度に比べ大きく改善いたしました。あいさつの花を咲かそう運動やあいさつ月間などの活動が効果を上げてきたと感じています。今後も、一層の取り組みを進めてまいります。



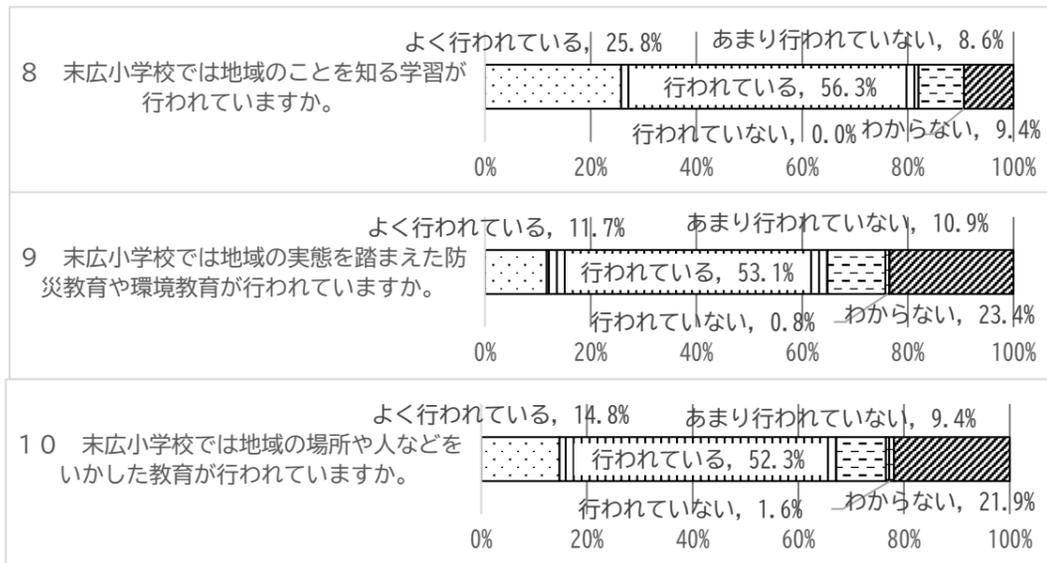
4～6の設問については肯定的な回答が微増ということで概ね良好な評価を得られていると考えています。

1～3は、子どもたちの生活に関わる設問です。生活習慣や規範意識は概ね身につけています。特にあいさつと時間を守ること・道徳的な規範意識を身に付けることは肯定的な回答が、それぞれ、4.4ポイントアップ、4.1ポ

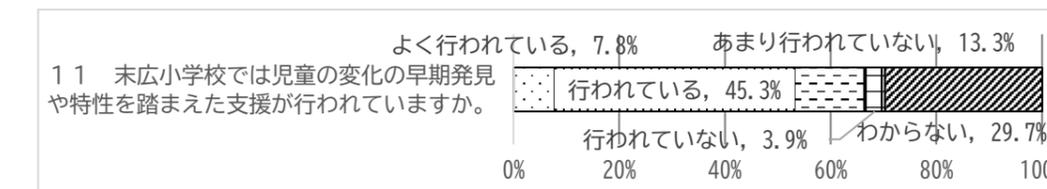
4～7は日常の学習の工夫や学習環境などにかかわる設問です。主体的・対話的な学習や意欲を引き出す学習、過ごしやすい学習環境についてなど



状況になったことも影響しているのかとも考えます。子どもたちの学習の様子をお見せする機会(学習参観など)にもう少し子どもたちがICTを活用している様子をお見せできればと思っております。



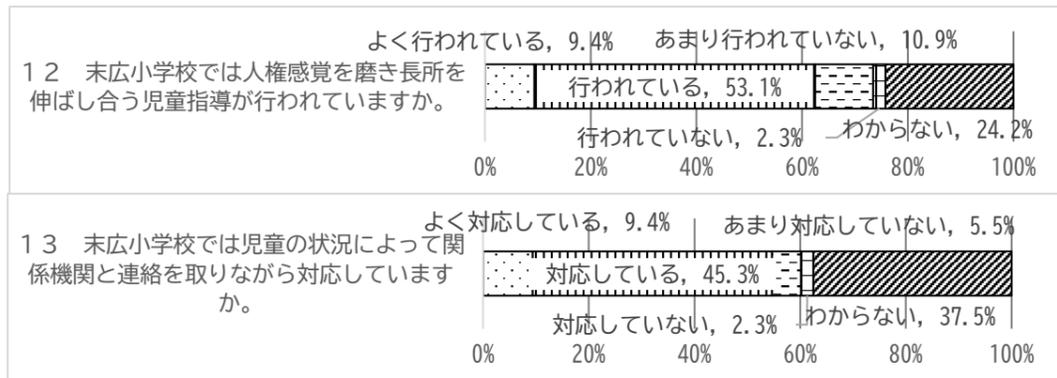
時間の中で「はだのっ子アワード」に取り組んでいることが一定の評価を受けていると思われます。ただ「はだのっ子アワード」についてその趣旨・方法が正しく保護者の皆様に伝わっていないところもあったようなので、ていねいな説明を心がけていきたいと考えています。また、防災・環境教育については、4.1ポイントの減となっております。能登地震などもあったばかりですので、もう少し日常の防災教育に力を入れていきたいと思っております。地域の場所や人を生かした学習については肯定的な回答が昨年より9.2ポイントアップしており、総合的な学習や生活科などの活動で多くのボランティアの方々に参加していただいたことによるものと考えています。次年度についても引き続き、地域に積極的にかかわるような取り組みを進めて参りたいと思っております。



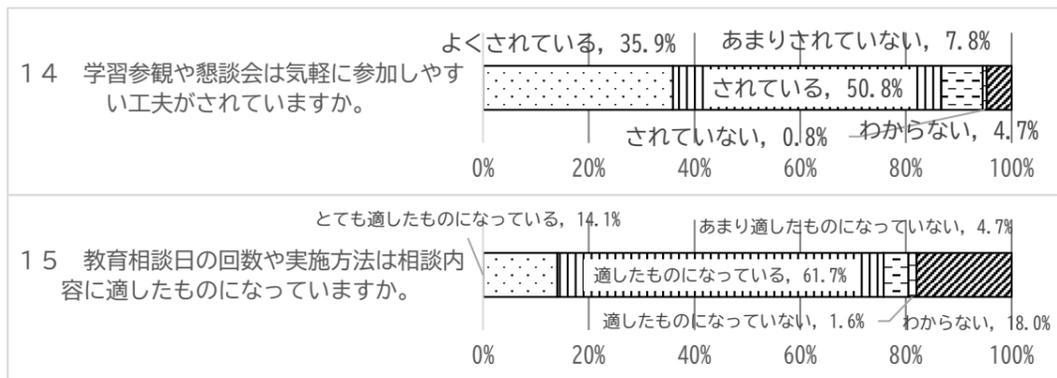
ただ、ICTの活用については8.5ポイント減少し、わからないの比率が増加しました。これはクロームブックが導入されて3年が経過し、ICTがあたりまえの

8～10は、地域のことを知る学習、地域の実態を踏まえた防災・環境教育、地域の場所や人を生かした学習に関係した設問になっています。地域のことを知る学習については、昨年度に比べて2.1ポイントアップし、総合的な学習の

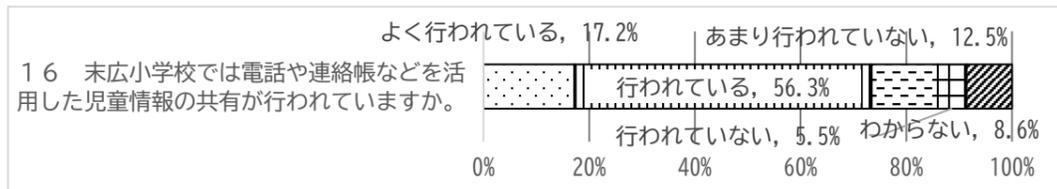
11～13は、児童指導にかかわる設問です。児童の変化についての早期発見や特性を踏まえた支援、人權



12の児童の変化の早期発見については、昨年度比9.6ポイントアップ、12の長所を伸ばす児童指導については昨年度比8ポイントアップとよい評価をいただきました。児童指導担当と教育相談コーディネーターを中心に、全教職員が子どもたちの変化を絶対に見落とさないという意識の元、すべての子どもたちが安心して過ごすことができる学校づくりを進めてきたことをご評価いただいたと感じております。また13の関係機関との連携という部分では保護者の方には伝わりづらい面があったようで「わからない」とする回答が多くなっており、もう少ししていねいに説明をしていく必要があると考えています。今後も、保護者の皆様に安心してもらうよう、秦野市教育委員会や児童相談所など関係機関とも連携し、取り組みを進めてまいりたいと思います。



14、15の設問は学習参観・懇談会や教育相談日にかかわる設問でした。学習参観や懇談会に参加しやすいかということについては、どちらもほぼ昨年度と同様の回答をいただきました。今年度よりコロナが2類から5類になったため、通常の参観の方法となりましたが、特に問題もなかったようで、よかったと思います。今後も、保護者の皆様が参加しやすい学習参観・懇談会の形を探っていきたいと思っております。また教育相談日ですが、月1回程度実施してまいりましたが、これにつきましては「わからない」とする回答が昨年度よりは減少したものの若干多くなっています。教育相談日を活用したことがない方もいらっしゃると思いますので、一概にいいことも悪いことも言い切れませんが、いずれにしても、日ごろの学校生活の中で何か困り感を抱えたときに、気軽に相談できる学校でありたいと考えております。今後もささいなことでも何か不安や悩み等がございましたら、お気軽にご連絡いただければ幸いです。

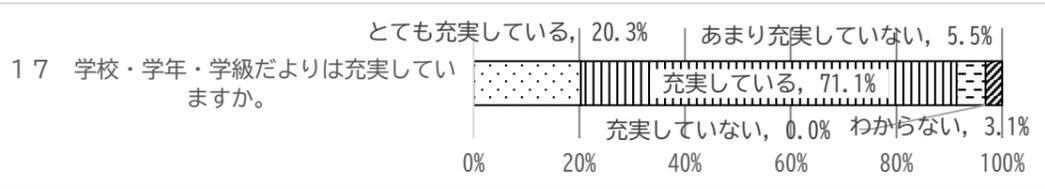


感覚や関係機関との連携といった内容です。11の児童の変化の早期発見については、昨年度比9.6ポイントアップ、12の長所を伸ばす児童指導につ

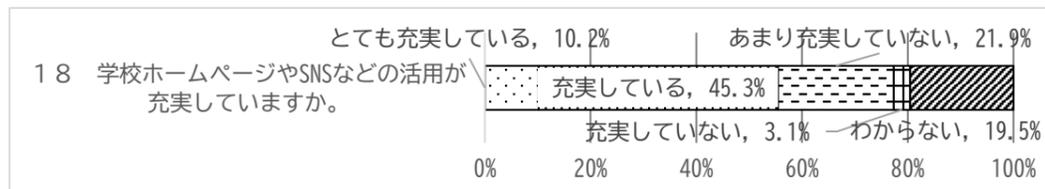
14、15の設問は学習参観・懇談会や教育相談日にかかわる設問でした。学習参観や懇談会に参加しやすいかということについては、どちらもほ

16の設問は、電話や連絡帳などの活用などを通して、子ども

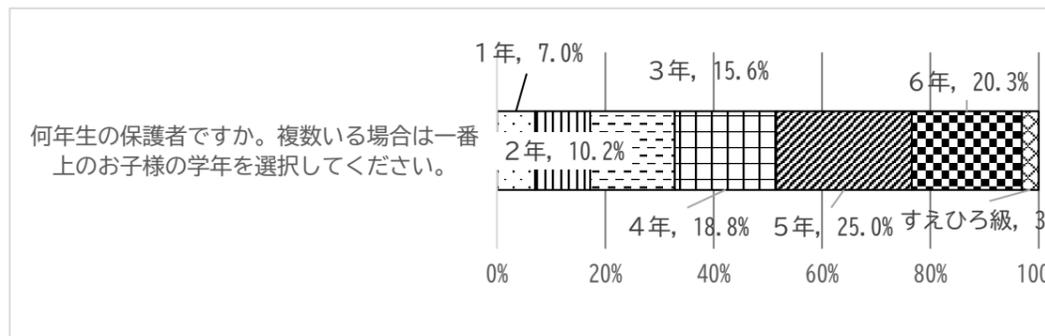
たちの情報の共有が図られているかという設問でした。これにつきましては、昨年度と比べて7.9ポイント減少いたしました。欠席連絡のフォームの活用が本格的に図られてきたことが理由として考えられますが学校といたしましては、体調のことや人間関係のこと、その他些細なことでも、保護者の方と子どもたちのことについて共有していくことが大切であり、深刻なこととならないようにするための基本ととらえております。今後も連絡帳や電話だけでなく様々な方法をうまく活用しながら、必要な情報の共有を図ってまいりたいと思



17は学校・学年・学級だよりについての設問でした。こちらは昨年度同様90%を超える肯定的な回答をいただきました。各学年・学級の教員がそれぞれ工夫をこらしながら、学級の様子や学年の様子を伝えようとしている結果であると思っております。今後も日ごろの子どもたちの様子を中心にいろいろな子どもたちの姿を伝えていくことができればと思っております。よろしく願いいたします。また、紙の価格上昇を踏まえ、学校だよりはメール配信といたしましたが、特に影響はなかったようでよかったと思っております。今後も各たよりに掲載してほしい情報等があれば遠慮なく、ご連絡いただければと思



18は、学校ホームページやSNSの活用についてです。こちらにつきましては、肯定的な回答が昨年度比で11.7ポイントアップいたしました。学校のInstagramなども多くの方に見ていただいているようで、ありがたく思います。今後もホームページやYoutubeなども含めてその効果的な活用について研究を進め、保護者の皆様の求めている情報などを提供できるよう、研究を進めてまいりたいと思



今回のアンケートにご回答いただいた学年の割合は左のようになります。お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。